

平成 26 年 7 月 11 日  
アンジェス MG 株式会社

### 主力開発品「コラテジェン®」で次世代製品の開発に着手 ～ より少量で効果、機能向上を目指し評価研究を開始 ～

当社は主力開発品である虚血性疾患治療剤「コラテジェン®」について、現行品より機能を大幅に高めた次世代品の開発に着手しました。現在開発を進める「コラテジェン®」が上市された後を見据えて、次世代製品への取り組みを開始するものです。

「コラテジェン®」は血管再生やリンパ管再生などの作用を持つ肝細胞増殖因子（HGF）遺伝子からなる遺伝子治療用医薬品で、重症虚血肢を対象としたグローバル第Ⅲ相臨床試験においては本第 3 四半期中に患者さんへの投与を開始する予定です。また、重症虚血肢以外では原発性リンパ浮腫を対象とした第 I/II 相臨床試験を世界に先駆けて日本国内で実施しています。

「コラテジェン®」の投与では、HGF 遺伝子を含んだプラスミド DNA<sup>※1</sup>という環状の DNA を患部に直接注射し、DNA が細胞内に取り込まれること（細胞導入）で作用を発揮します。現在の製剤では特に細胞導入を高める技術を使用していませんが、次世代品では細胞導入効率を飛躍的に向上させる技術を併用します。近年、安全性の高い細胞導入技術の開発が世界的に進んでおり、今回、複数の候補技術のうち一つについて評価する試験を開始しました。他の候補技術についても試験を実施し、2015 年末までに採用技術を決定する予定です。

細胞導入の効率を高めることにより、より少量の薬剤で現在と同等あるいはそれ以上の効果を発揮できる可能性があり、投与に伴う患者さんへの負担軽減に加え、事業面では「コラテジェン®」の収益性の向上が期待できます。

「コラテジェン®」は当社が設立以来開発を手がけてきた主力開発品であり、実用化に至った際には将来の長い期間において当社の成長に貢献できるよう、次世代品を含め今後も積極的に開発に取り組んでまいります。

※1：細胞内で遺伝子の本体である染色体に組み込まれないため、遺伝子治療で広く使われるウイルスを利用したベクター（遺伝子の運搬を担う分子）より安全性が高い。

以上

お問い合わせ先

アンジェス MG株式会社 経営企画室 広報グループ

TEL: 03-5730-2641